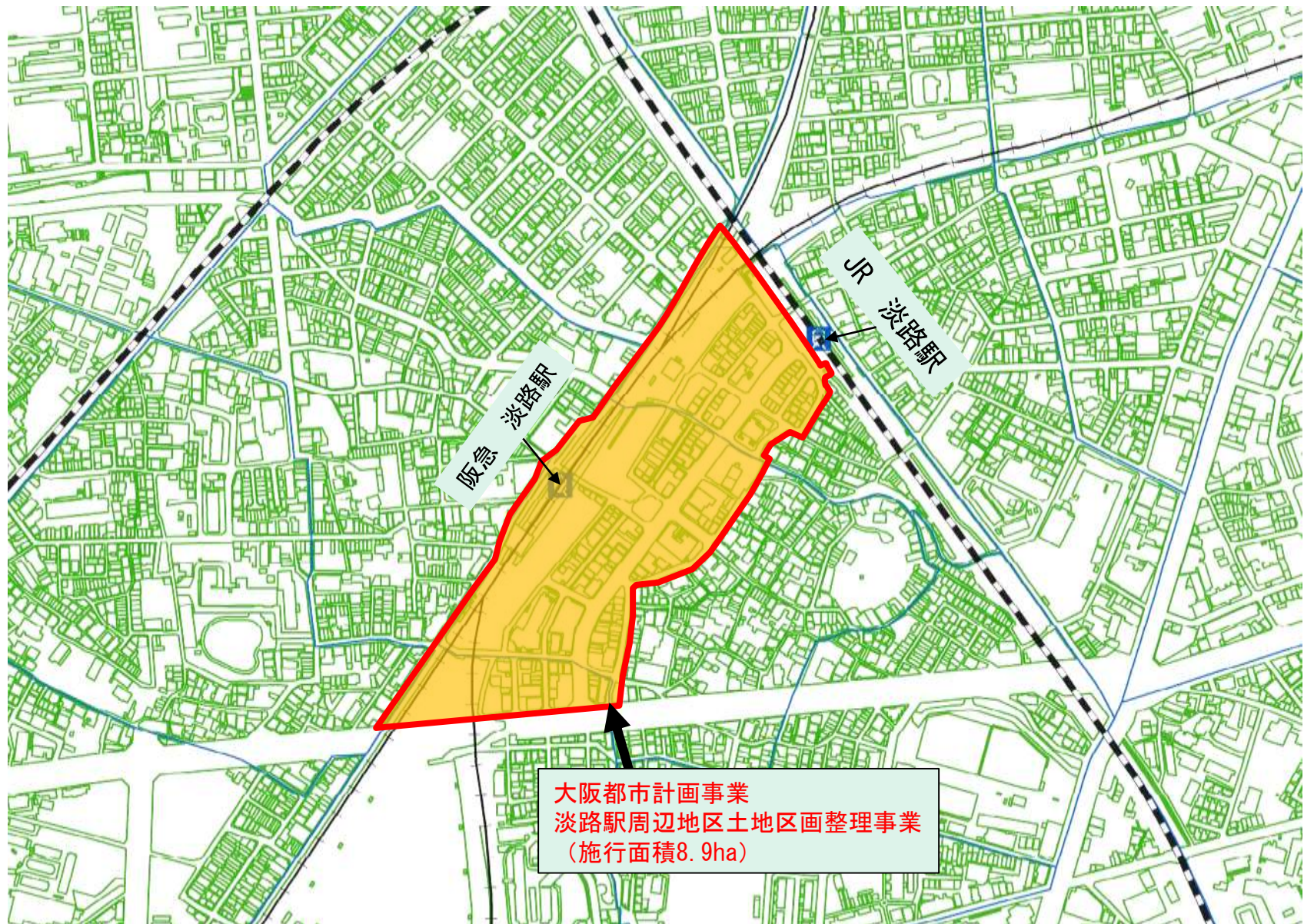


東淀川区東淡路2・4丁目、菅原5丁目、淡路3・4・5丁目の各一部



③ 費用便益分析

土地区画整理事業 B/C=1.10	
便益 (単位：百万円)	
総地代 事業なし	8,216
総地代 事業あり	10,313
差（1年間の便益）	2,097
便益総額の現在価値	57,310
費用 (単位：百万円)	
事業費（単純合計）	29,635
維持管理費（単純合計）	272
投資総額の現在価値	52,191
残事業B/C	6.45

街路事業 B/C=1.08	
便益 (単位：百万円)	
走行時間短縮便益	566
走行経費減少便益	22
交通事故減少便益	1
歩行者に関する便益	1,204
合計（初年便益）	1,793
便益総額の現在価値	33,747
費用 (単位：百万円)	
事業費（単純合計）	19,487
維持管理費（単純合計）	272
投資総額の現在価値	31,261
残事業B/C	45.11

計画道路の概要

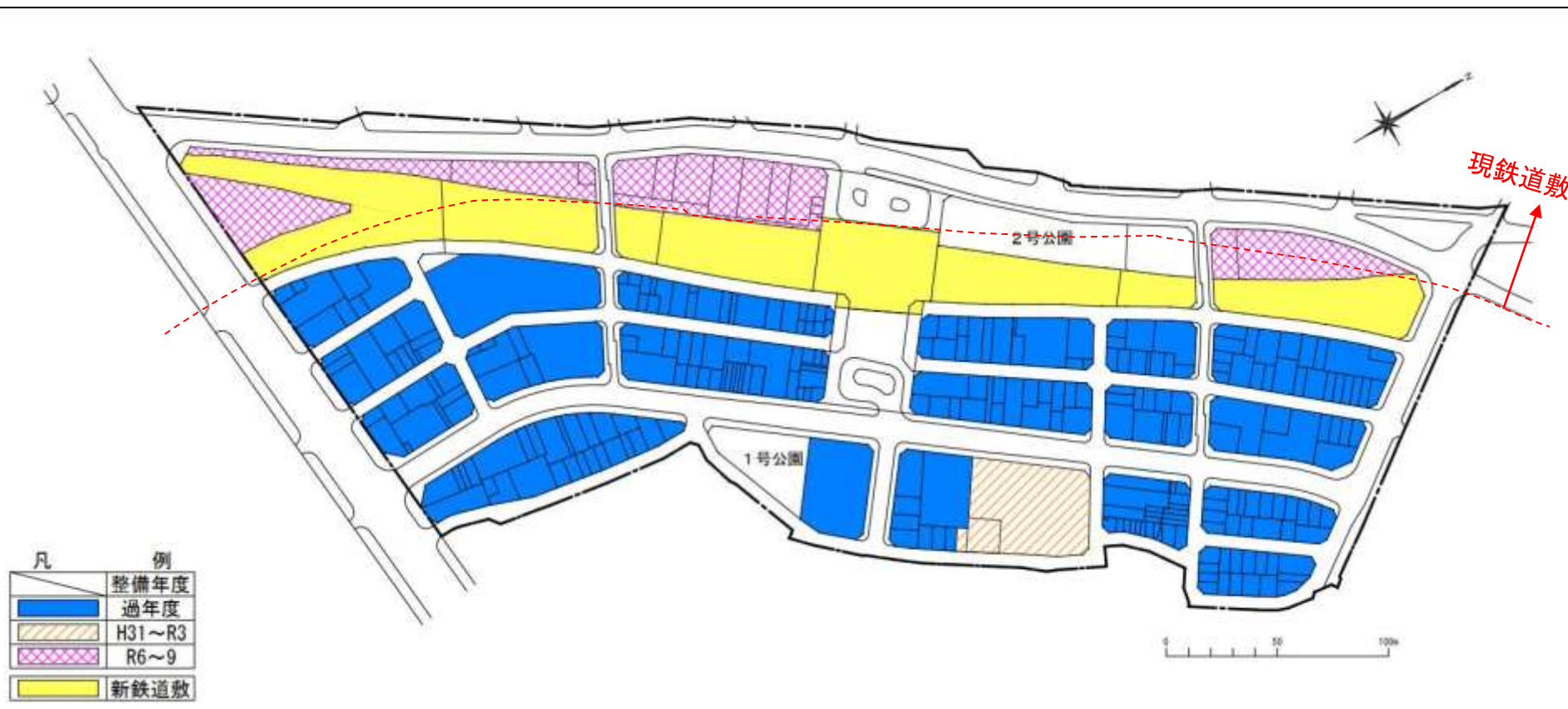


<凡例>

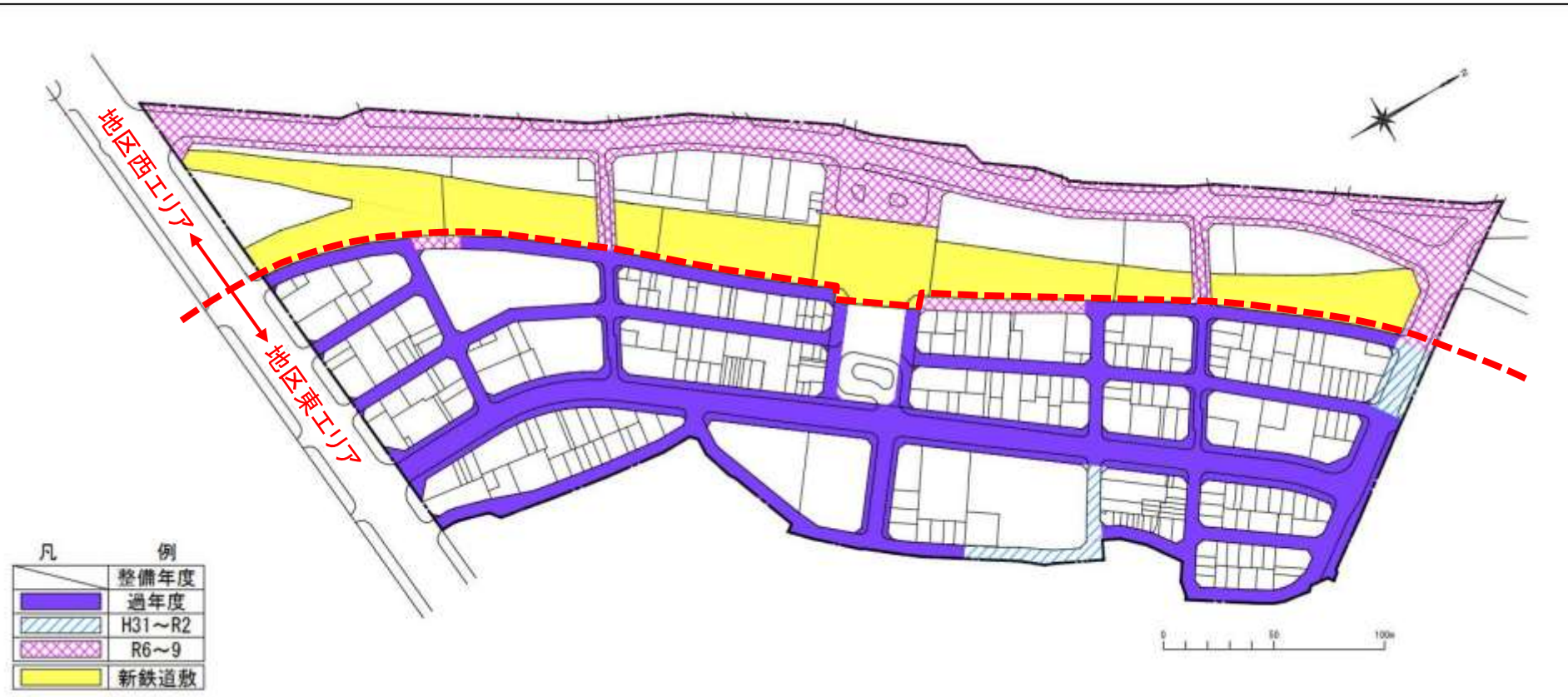
都市計画道路 淡路駅前線

淡路駅周辺地区土地区画整理事業 施行区域

大阪都市計画事業淡路駅周辺地区土地区画整理事業
建物移転後の宅地利用可能箇所図



大阪都市計画事業淡路駅周辺地区土地区画整理事業
街路築造 整備工程図



※地区のほとんどの換地が配置される新鉄道敷より東のエリアは概ね整備済み。
※新鉄道敷より西のエリアは2024年度(令和6年度)の高架切替後に整備を行う。
※過年度整備済みの一部は、仮設舗装による整備を含みます。

①従前居住者用住宅屋上より地区東エリア



②商店街区



③



④淡路駅前線(東側)



⑤



⑥

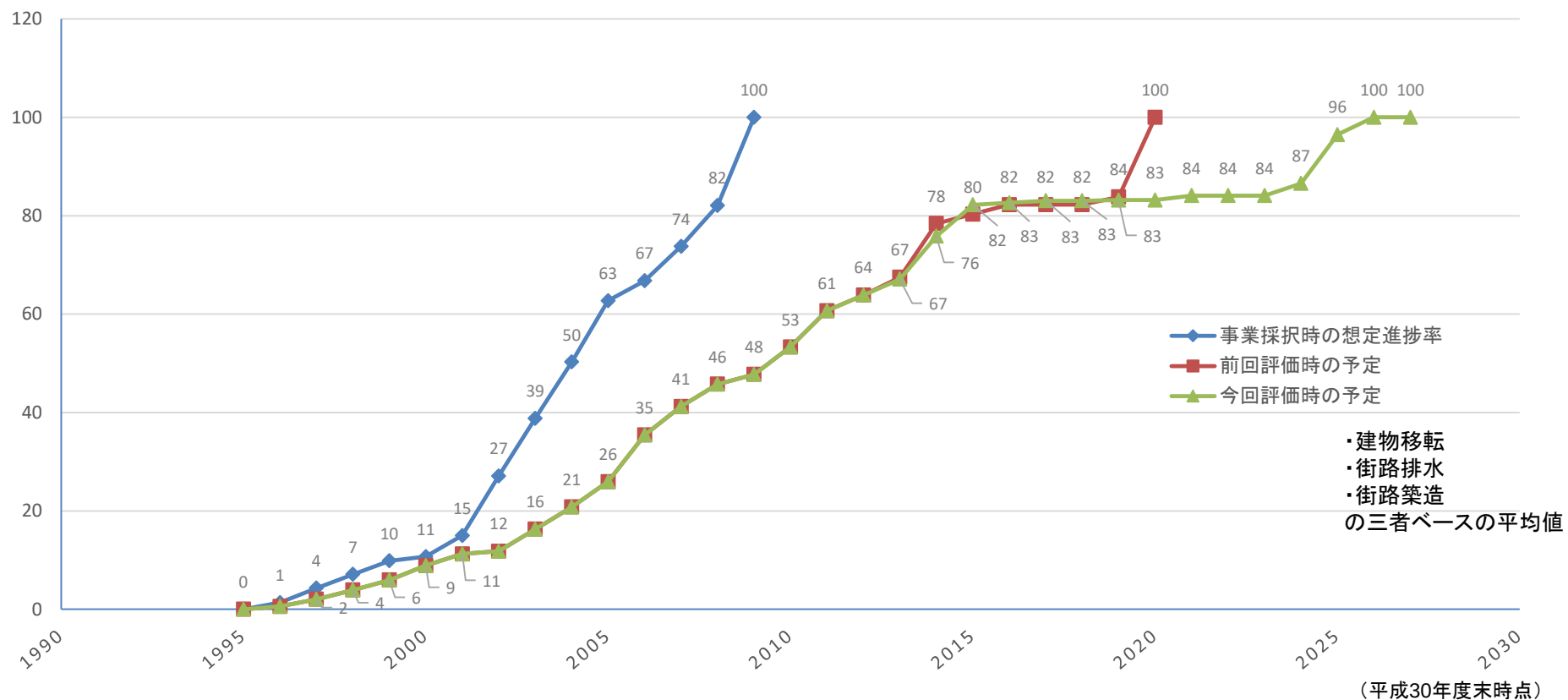


⑦



図3 進捗状況(4)

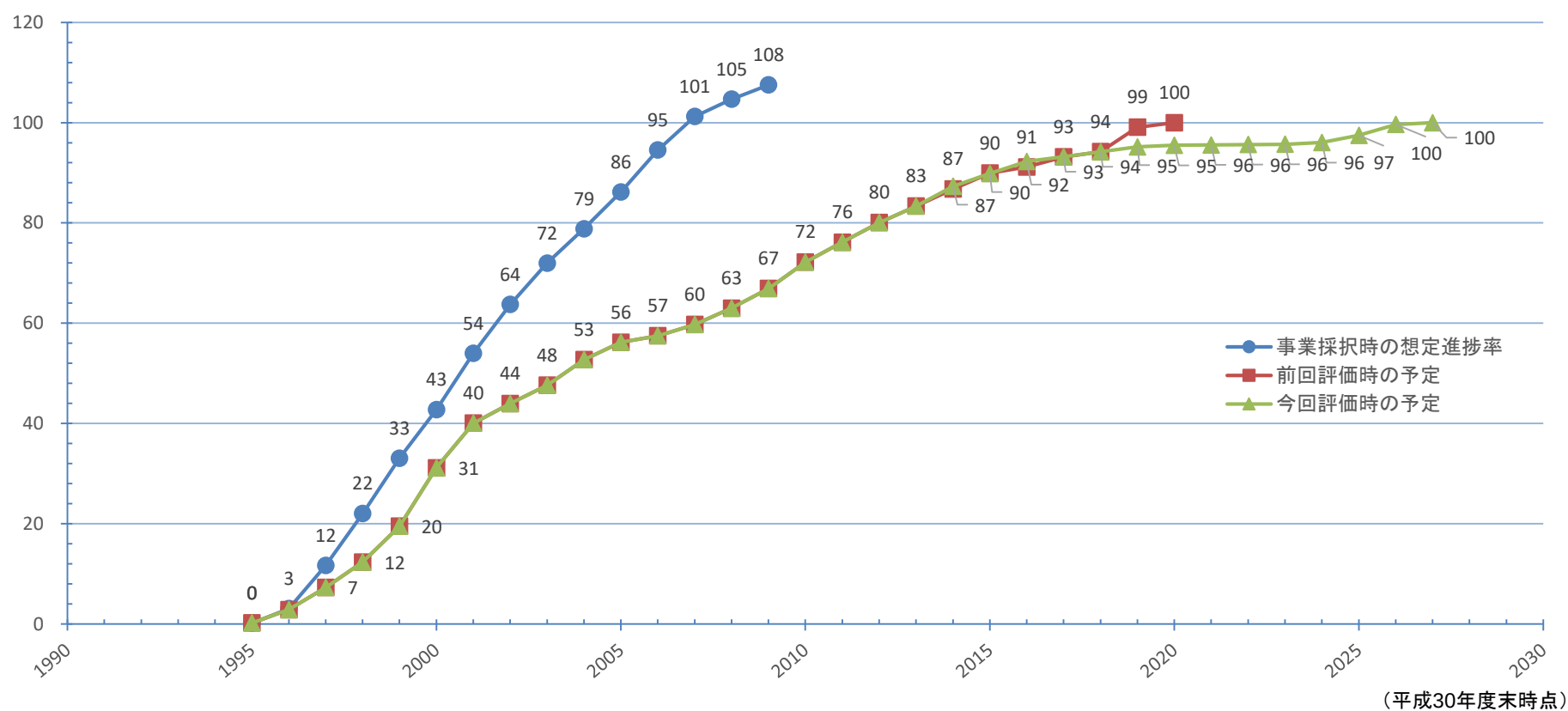
(4 事業の実現見通しの視点 ②事業規模)



主な残事業の内容

- 建物移転：4戸（総戸数：915戸）
- 街路排水：586m（総延長：3,036m）
- 街路築造：947m（総延長：3,040m）
- その他：公園整備2箇所（総箇所：2箇所）
- 駅前交通広場1箇所（総箇所：1箇所）

図4 進捗率の推移



残事業費：21億円（総事業費：368億円）

今後のスケジュール（見込み）

- 2019 (R1) 年度 地区東エリアの都市計画道路の完成
- 2024 (R6) 年度 高架切替
- 2027 (R9) 年度 換地処分